

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19214
課題名	乳癌患者における CD47, PD-L2 発現と予後に関する検討
研究期間	実施許可日 ～ 2025 年 1 月 31 日
研究の対象	2007 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までに当院乳腺疾患センターで乳癌の手術をうけられた方
利用する試料・情報の種類	<p>■ 診療情報 (詳細：年齢・性別・病理診断内容 (ホルモンレセプターや HER2 タンパクの発現状況, リンパ節転移の有無など)・術後治療の有無・再発の有無・生死の有無など)</p> <p>■ 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名： 乳癌組織)</p> <p><input type="checkbox"/> 血液</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
研究の意義、目的	<p>最近のがん治療において、免疫が大きく関わっていると考えられるようになってきました。そこで、乳癌において、免疫に関与する CD47 および PD-L2 というタンパク質が再発率や治療効果にどのように影響するかを知るための研究です。また、腫瘍の免疫状態に関与する STING, cGAS, CD4, CD8, CD68, NCAM1, HLA-G などのタンパク質の発現との相関をみる研究です。手術時の残余検体を使います。</p> <p>研究結果によっては、新しい治療法の開発の糸口になるかもしれません。</p>
研究の方法	手術で摘出した乳癌組織に CD47 および PD-L2, STING, cGAS, CD4, CD8, CD68, NCAM1, HLA-G などのタンパク質の発現を免疫組織化学染色で調べます。そのタンパク質の発現と、再発率や薬剤の治療効果に関与するかどうかをカルテのデータから解析します。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>旭川医科大学 乳腺疾患センター (呼吸器センター) 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号 TEL 0166-69-3290</p>

研究分担者 安田 俊輔 (乳腺疾患センター 助教)

研究分担者 大栗 敬幸 (病理学講座免疫病理分野)

研究責任者 :

旭川医科大学 病理学講座免疫病理分野

小林 博也